

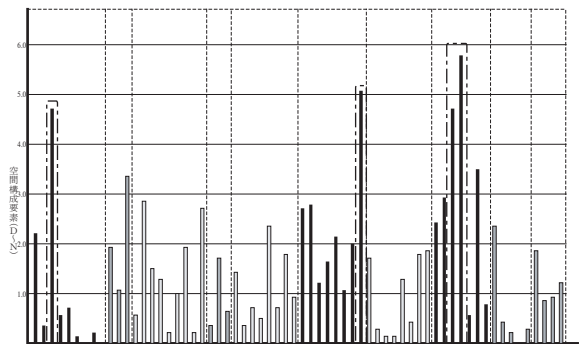
|          |     |    |
|----------|-----|----|
| 日本生産工(院) | ○田尾 | 若菜 |
| 日本生産工(院) | 山田  | 悟史 |
| 日本生産工    | 大内  | 宏友 |

かつての江戸・東京における河川をはじめとする水辺空間は舟運機能をはじめ人々の生活用、防水用、親水用など多面的に利用されていた。そして江戸特有の多様な文化を育むと同時に名所と称される美しい景観を生み人々に愛され親しまれてきた。しかし戦後の経済発展に伴い利便性や治水上の施策が強調された結果、都心における水辺空間は高速道路やコンクリートの支柱群ビル群などにより視線が遮られ、かつて人々が日常的に体験していた水辺空間における豊かさは減少した。また近年では、都市におけるヒートアイランド現象や砂漠化は深刻な問題としても取りざたされている。一方で人々は、余暇や日常の潤いを都心における水辺空間に求めるようになった。都市計画においても、日本橋の高速道路地下構想など全国的に水辺空間の再生に対する活動も活発化してきており、江戸時代の浮世絵に描かれた水辺空間の豊かさは、現代の都市空間の在り方を担うひとつの大きなテーマであるといえる。

これまで、「広重の浮世絵風景画にみる景観分類に関する研究」、「広重の浮世絵風景画に描かれた河川景観の絵図に関する一考察」があり、多くの成果が得られてる。江戸・東京についての研究は「絵図に表現された江戸名所における水辺空間構造に関する基礎的研



| A.季節 | B.時間   | C.天気 | D.水  | E.舟  | F.建築 | G.橋    | H.道路  | I.サイン |       |
|------|--------|------|------|------|------|--------|-------|-------|-------|
| 1春   | 1朝     | 1晴れ  | 1霞   | 6用水車 | 1船台  | 6瓦葺    | 15公道橋 | 1路路   | 6犬の鳴声 |
| 2夜   | 2中     | 2曇り  | 2濁り  | 2屋形船 | 2土屋  | 7神社    | 2古木   | 2     | 7うしろ川 |
| 3秋   | 3夕方    | 3雨   | 3河川  | 3筏   | 3軒屋  | 8葺     | 3その他  | 3     | 3橋    |
| 4冬   | 4夜     | 4雪   | 4滝   | 9千舟  | 4店舗  | 8葺     | 3     | 4     | 4     |
| 5不明  | 5不明    | 5不明  | 5濁   |      | 5風   | 9夜道    | 5     | 5門    |       |
| 1.人物 |        | K.動物 |      | L.緑  |      | M.木の存在 |       | O.視点  | P.行着  |
| 1群衆  | 6町人    | 1鳥   | 6犬   | 1山   | 6芝、芝 | 3水     | 1手    | 8石組み  | 1風景   |
| 2女   | 7僧侶、神主 | 2鳥   | 7狐   | 2富士山 | 7その他 | 2堤防    | 3     |       |       |
| 3子供  | 53男1女  | 3鳥   | 8その他 | 3谷、林 | 3行水  | 3川床    |       |       |       |
| 4農   | 4猫     | 4猫   | 4雨   |      | 4橋脚  | 4船着場   |       |       |       |
| 5土   | 5主理    |      |      |      | 5土   | 5土     |       |       |       |



究-水辺空間における『風物詩空間』を創出するランドスケープデザイン手法-」が挙げられるが十分ではない。

浮世絵の絵図に描かれた江戸・東京の美しい水辺や、人々の生き生きとした姿は現代の都市における水辺空間の再生のための指標の一つになると考えられる。

そこで、本研究は歌川広重が「名所江戸百景(図-001 品川すさき)」に描いた119枚の絵図を分析対象とし、水辺空間における構成要素のについて分析・考察することにより、江戸・東京における水辺空間の豊かさを再生するための有効な街づくり手法として構築することを目的とする。

現在街づくりには様々な手法が用いられているが、本稿では絵図に描かれた空間構成要素を配置計画へ転換することを念頭に、既往研究において抽出した空間構成要素の配置復元図の作成手法の構築を行う。

古地図には建築、道路、河川などの水辺、整備された

緑地、寺社などが記載されている。この古地図に空間  
空間構成要素を加えることにより、構成要素の配置の関  
係性について分析し考察を行う。

「浮世絵に描かれた江戸・東京の水辺空間の空間構  
成要素について」では、浮世絵に描かれた要素のうち  
出現頻度上位要素を明らかにした(表-01,図-02)。また  
浮世絵をKJ法<sup>\*2</sup>を用いて類型化することにより17類型  
を得、さらにそれらを図式化することにより最終的に「水  
辺を主題とする類型」と「水辺を空間の一部またはアク  
セントとしてとらえている類型」の二類型に分類するこ  
ができた。さらに「水辺を主題としてとらえている類型」の  
分析より、・観賞用として整備された水辺・寺社のある水  
辺・河川沿いに建ち並ぶ建築・水上の賑わいという4つ  
の水辺空間の特徴とその要素を抽出し、考察を行った。  
「浮世絵に描かれた水辺空間の空間構成要素間相互  
の関係性について」ではKJ法より得た17類型ごとの出  
現頻度上位要素の分析・考察を行うことによりE舟、F建  
築、H街路、Iサイン、K動物という各類型の特徴といえ  
る構成要素を抽出し、構成要素間相互の関係性につい  
て考察を行う。

以上二稿にわたって絵図に描かれた空間構成要素に  
着目し研究を行ってきたが、これらを街づくり手法の一  
つの指標として用いるためには現在用いられている計  
画手法へと変換することが必要であると考えられる。

#### 4. 作成手法

浮世絵の絵図は多様性に富んでいることからすべて  
の絵図を一通りの手法で復元配置図へと転換すること  
は難しいと言える。そこで手法の定義を行った上で各々  
の絵図に合った手法を用いて復元配置図を作成するこ  
ととする。

##### 4-1. 視点場(station point=S)

絵図が描かれた視点場を特定するために

i) 絵図のタイトル

ii) 文献調査を行い、「名所江戸百景」が描かれた当時  
の古地図<sup>\*3</sup>上に記した(図-03)。

ここで i) 絵図のタイトルでは、地域名、河川の名称、橋  
の名称、寺社の名称からの特定を行った。なお以後絵  
図はタイトルナンバーを用いて表記する(表-02)。

表-02 タイトルナンバー/視点の高さ

| No. | Title               | 視線の高さ  |
|-----|---------------------|--------|
| 001 | 日本橋雪晴               | ▲      |
| 002 | 霞かせき                | ○      |
| 003 | 山下町日比谷外さくら田         | ○      |
| 004 | 永代橋細しま              | ○船の上   |
| 005 | 両ごく回向院元柳橋           | ▲丘の上   |
| 006 | 馬喰町初音の馬場            | ○      |
| 007 | 大てんま町木綿店            | ○      |
| 008 | する賀てふ               | ▲      |
| 009 | 筋達内ハツ小路             | ▲      |
| 010 | 神田明神囃之景             | ○      |
| 011 | 上野清水堂不忍ノ池           | ▲丘の上   |
| 012 | 上野山した               | ▲      |
| 013 | 下谷広小路               | ▲      |
| 014 | 日暮里寺院の林泉            | ▲丘の上   |
| 015 | 日暮里頭訪の台             | ▲丘の上   |
| 016 | 千駄木団子坂花屋敷           | ▲      |
| 017 | 飛鳥山北の眺望             | ▲      |
| 018 | 王子稲荷の杜              | ▲      |
| 019 | 王子音無川堰隼             | ▲丘の上   |
| 020 | 川口のわたし善光寺           | ▲丘の上   |
| 021 | 芝愛宕山                | ○      |
| 022 | 広尾ふる川               | ▲      |
| 023 | 目黒千代か池              | ▲      |
| 024 | 目黒新富士               | ▲丘の上   |
| 025 | 目黒元不二               | ▲丘の上   |
| 026 | 八景坂懸松               | ▲      |
| 027 | 蒲田の梅園               | ○      |
| 028 | 品川御殿やま              | ▲      |
| 029 | 砂むら元八まん             | ▲      |
| 030 | 亀戸梅屋舗               | ○      |
| 031 | 吾嬬の森連理の梓            | ▲      |
| 032 | 柳しま                 | ○妙見堂より |
| 033 | 四ツ木通用水引ふね           | ▲丘の上   |
| 034 | 真乳山山谷夜風景            | ▼      |
| 035 | 隅田川水神の森真崎           | ▲丘の上   |
| 036 | 真崎辺より水神の森内川関屋の里を見る図 | ▲建物二階  |
| 037 | 隅田河橋場の渡かわら窯         | ○      |
| 038 | 廊中東雲                | ○      |
| 039 | 吾妻橋金竜山遠望            | ▼      |
| 040 | せき口上水端はせを庵格やま       | ▲丘の上   |

| No. | Title          | 視線の高さ     |
|-----|----------------|-----------|
| 041 | 市ヶ谷八幡          | ▲丘の上      |
| 042 | 玉川堤の花          | ○         |
| 043 | 日本橋江戸ばし        | ▼橋の上      |
| 044 | 日本橋通一丁目路園      | ○         |
| 045 | 鑑の渡し小網町        | ▼         |
| 046 | 昌平橋聖堂神田川       | ▲丘の上      |
| 047 | 王子不動之滝         | ○         |
| 048 | 赤坂桐畑           | ○         |
| 048 | 赤坂桐畑雨中夕けい      | ▲丘の上      |
| 049 | 増上寺塔赤羽根        | ▲山の上      |
| 050 | 細しま住吉の祭        | ○         |
| 051 | 深川万年橋          | ▼         |
| 052 | 大はしあたけの夕立      | ▲         |
| 053 | 両国橋大川ばた        | ▲丘の上      |
| 054 | 浅草川首尾の松御厩河岸    | ○         |
| 055 | 駒型堂吾嬬橋         | ▲丘の上      |
| 056 | 堀切の花菖蒲         | ▼         |
| 057 | 亀戸天神境内         | ○         |
| 058 | 逆井のわたし         | ▲         |
| 059 | 深川八まん山ひらき      | ▲丘の上      |
| 060 | 中川口            | ▲丘の上      |
| 061 | 利根川ばらばらまつ      | ▼         |
| 062 | ハッ見のはし         | ○         |
| 063 | 水道橋駿河台         | ▲このぼり越しに町 |
| 064 | 角善照野十二社 俗称十二そう | ▲         |
| 065 | 熊町一丁目山王祭ねり込    | ▲         |
| 066 | 外桜田弁慶堀廻町       | ▲         |
| 067 | みつまたわかれの淵      | ▲岸から      |
| 068 | 浅草川大川端宮戸川      | ○         |
| 069 | 綾瀬川鐘か淵         | ▼座っている    |
| 070 | 五百羅漢さざめ堂       | ▲         |
| 071 | 深川三十三間堂        | ▲         |
| 072 | はねたのわたし弁天の社    | ▼座っている    |
| 073 | 市中繁栄七夕祭        | ▲屋根の上     |
| 074 | 大伝馬町こぶく店       | ○         |
| 075 | 神田紺屋町          | ○         |
| 076 | 京橋竹がし          | ○水の上      |
| 077 | 鉄炮洲稲荷橋湊神社      | ○船の上      |
| 078 | 鉄炮洲築地門跡        | ○河川上      |
| 079 | 芝神明増上寺         | ○         |

| No. | Title         | 視線の高さ      |
|-----|---------------|------------|
| 080 | 金杉橋芝浦         | ○          |
| 081 | 高輪うしまち        | ▼座っている     |
| 082 | 月の岬           | ○廊下        |
| 083 | 品川すさき         | ▲          |
| 084 | 目黒爺々が茶屋       | ▲丘の上       |
| 085 | 紀の国坂赤坂溜池遠景    | ○          |
| 086 | 四谷内藤新宿        | ▼座っている     |
| 087 | 井の頭の池弁天の社     | ▲          |
| 088 | 王子滝の川         | ▲崖から川を     |
| 089 | 上野山内月のまつ      | ○木越しに町     |
| 090 | 猿わか町よるの景      | ▼          |
| 091 | 請地秋葉の境内       | ▲神社の敷地内丘の上 |
| 092 | 木母寺内川御前蔵畑     | ▲川岸丘の上     |
| 093 | にい宿のわたし       | ▲龜有の丘の上    |
| 094 | 真間の紅葉手古那の社継はし | ▲寺の丘の上     |
| 095 | 鴻の台とね川風景      | ▲          |
| 096 | 堀江ねこさね        | ○船上        |
| 097 | 小奈木川五本まつ      | ○川沿いの道     |
| 098 | 両国花火          | ▲川岸        |
| 099 | 浅草金龍山         | ▼          |
| 100 | よし原日本堤        | ▲          |
| 101 | 浅草田園西の町詣      | ▲町屋の2階     |
| 102 | 養輪金杉三河しま      | ○          |
| 103 | 千住の大はし        | ▲川岸        |
| 104 | 小梅堤           | ○川岸        |
| 105 | 御厩河岸          | ▼川岸        |
| 106 | 深川木場          | ○川岸        |
| 107 | 深川州崎十万坪       | ○船上        |
| 108 | 芝うらの風景        | ○船上        |
| 109 | 南品川欽洲海岸       | ○船上        |
| 110 | 千束の池製炭懸松      | ▲池横の丘の上    |
| 111 | 目黒太鼓橋夕日の岡     | ▲小屋(2階程)   |
| 112 | 愛宕下敷小路        | ○河川上       |
| 113 | 虎ノ門外あふひ坂      | ▲          |
| 114 | びくにはし雪中       | ○          |
| 115 | 高田の馬場         | ○          |
| 116 | 高田姿見のはし佛の橋砂利場 | ▲丘の上       |
| 117 | 湯しま天神坂上眺望     | ▲湯島天神内坂の上  |
| 118 | 王子菰束玄の木大晦日の狐火 | ○          |

凡例) ▲:鳥瞰 ○:アイライン ▼:見上げる



図-03 視点場

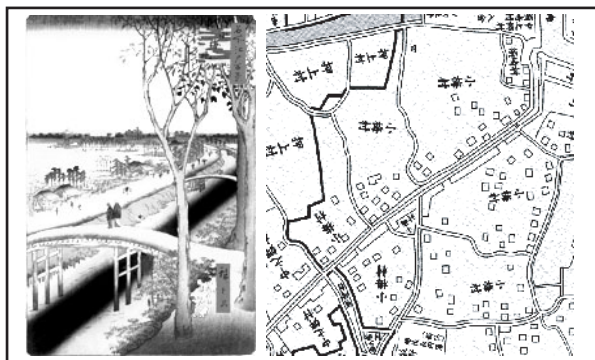
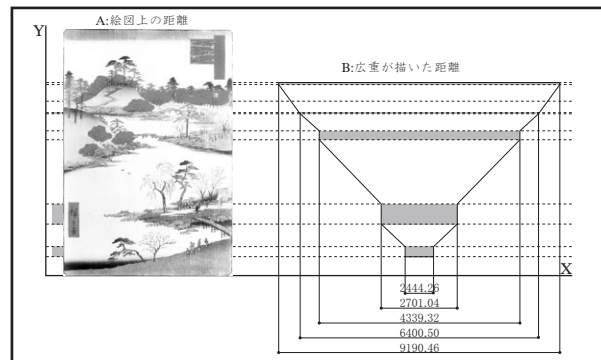
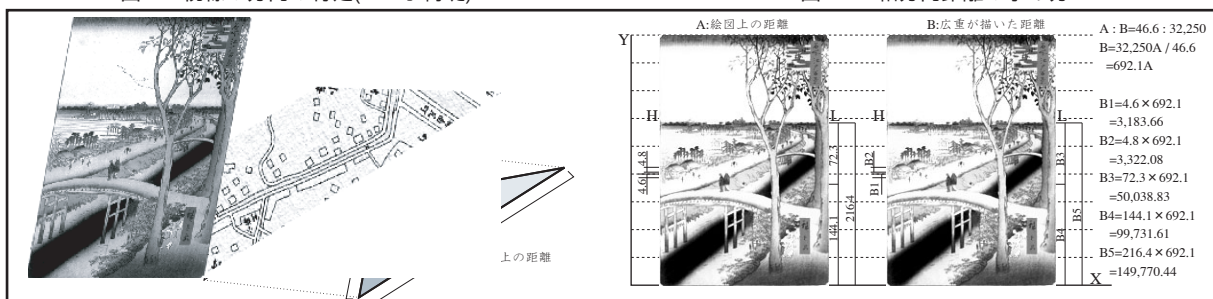


図-04 視線の方向の特定(104小梅堤)



### 図-05 X軸方向距離の求め方



### 図-06 Y軸方向距離の求め方

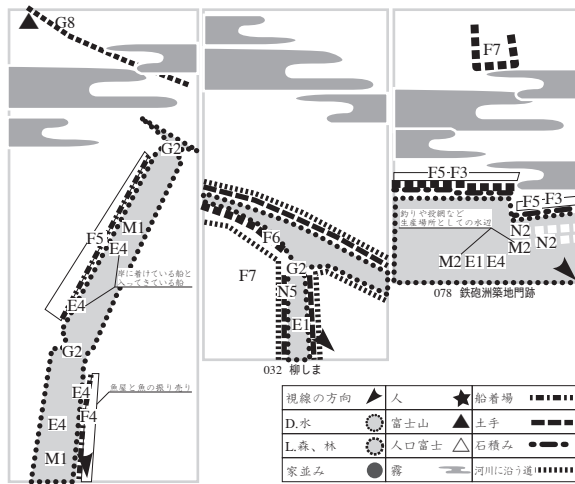


図-07 空間構成要素の配置

#### 4-2. 視線 (visual ray)

視点場とされる場所の古地図<sup>\*4</sup>上の情報と絵図に描かれた建築、水辺の位置関係から視線の方向を特定した(図-04)。

#### 4-3. 目の位置(point of sight=E)

絵図から消失点(V)を導き出し目の位置を特定した。しかし風景画であることから消失点を明確に持たなかったり、消失点を得ることが難しい絵図もあることから・仰ぎ見る・アイライン・鳥瞰の3グループに分類した(表-02)。

#### 4-4. 広重が描いた距離

広重が描いた構成要素の配置について分析するため絵図の左下端を(0,0)、短手方向をX軸、長手方向を軸として、以下の操作を行った(図-05,06)。

I)江戸時代の人々の平均身長150.6cmをX軸の距離を測定するための基準とした。

人の平均身長から実際の距離との比を求め、絵図に描かれた構成要素のX座標を求めた。

II)絵図のY軸方向で明らかに距離を測れるもの(橋の長さ、河川の幅など)を選び、古地図上の実際の距離と比較し、画面の起き上がり角度を比として求めた。

III)画面の起き上がり角度から空間構成要素間のY座標、距離を求めた。

また基線から地平線(horizontal line=H.L.)までの距離を求めた地平線が描かれているときは基線から地平線までが描写範囲と言え、霧による省略が行われているときは霧が描かれている部分を描写範囲とした。

#### 4-5. 空間構成要素の配置

名所と呼ばれた場所の中で広重が選んだ空間構成要素の組み合わせと配置関係を明らかにするため、古

地図に絵図に描かれている空間構成要素を加えた(図-07)。

#### 5. まとめ

本稿では構成要素間相互の配置の復元を行うための基礎的な手法の構築を行った

①視点場を古地図上に記したことにより、名所と呼ばれた場所が河川や水辺に沿って絵図が描かれていることがわかった。

②視線の方向を明らかにし、絵図に描かれている構成要素を古地図に配置することにより、連続して橋が見えるなど、広重が浮世絵として切り取った空間構成要素の組み合わせを明らかにすることができた。

③目の位置を明らかにすることにより、・仰ぎ見る・アイライン・俯瞰という3グループに分類することができ、水上、河川沿いの岸边、建築の中から水辺を眺める、丘から見下ろす、座った状態からの視点という5つの特徴を得ることができた。

④絵図にX軸・Y軸を設定し、人の身長を基準としたX座標、絵図の起き上がり角度を基準としたY座標を求めることができた。

以上、構成要素間相互の配置復元図の作成手法の基礎的な構築を行ったが、今後は配置復元図をもとに隣合う視点場を持つ複数の配置復元図の統合など、より広域での調査・分析を行う予定である。

#### <注釈>

\*1)名所江戸百景

歌川広重晩年の大判錦絵揃物。広重筆118点、二代目広重筆1点、梅素亭玄魚筆目録1点、総計120点からなる。安静江戸地震の翌年、安静3年(1856)2月に始まり、広重が死ぬ安静5年までの役2年半反抗が続いた。名所を描いた錦絵の揃物において百景ものは初めて。

\*2)KJ法

収集し蓄積された情報の中から、当面する問題の解決に必要なものを取り出し、互いに関連のあるものをつなぎ合わせ、整理・統合する手法の一つであり、特に、質的にバラエティに富んだ情報内容の構造の把握に有効な手法である。

\*3)RumseyHistoricalMaps

\*4)エービービー株式会社 The encyclopedia of EDO-TOKYO digital map

#### <引用文献>

1) 関藤訓平、渡部一二：「広重の描いた『名所江戸百景』にみる水辺空間の構成に関する研究」日本造園学会誌 ランドスケープ研究 (2006.5) 69巻、5号、pp725~730

#### <既往研究>

1) 田尾若菜 菊池秀和 山田悟史 大内宏友：「浮世絵に描かれた江戸・東京の水辺空間の空間構成要素について」日本建築学会学術講演概要集(2007.09) 711-712

2) 田尾若菜 山田悟史 大内宏友：「浮世絵に描かれた江戸・東京の水辺空間における構成要素間相互の関係性について」日本大学生産工学部学術講演会概要集 (2007.12) 191-194

#### <参考文献>

1) 萩島哲：「風景画と都市景観—水・緑・道・まちなみ—」理工図書(1996.2)

2) 日本建築学会：「建築・都市計画のための調査・分析方法」井上書院(1991.11)

3) 後藤茂樹：「浮世絵大系16—名所江戸百景(1)—」集英社 (1975.12)

4) 後藤茂樹：「浮世絵大系17—名所江戸百景(2)—」集英社 (1976.4)

5) 坂井猛・出口敦・萩島哲・朴鍾ちよる・菅原辰幸：「広重の浮世絵風景画にみる景観分類に関する研究」日本建築学会計画系論文集 (1994.7) 第461号、pp165

6) 嶋心治・萩島哲・出口敦・坂井猛・趙世長：「広重の浮世絵風景画に描かれた河川景観の構成に関する一考察」日本建築学会計画系論文集 (1996.4) 第482号、pp155

7) 坂井猛、萩島哲、出口敦、嶋心治、日高圭一郎：「浮世絵風景画に描かれた宿場の景観構成に関する考察」日本建築学会計画系論文集 (1998.7) 第509号、pp149